

平成19年度 和歌山県文化功労賞

み お いさお 三 尾 功

住 所：和歌山県和歌山市
出 身 地：和歌山県紀の川市
生 年：昭和6年

◎業績及び経歴

昭和6年大阪市に生まれ、郷里の中貴志村(現：紀の川市)で育ち、県立粉河中学校、県立粉河高等学校で学ぶ。昭和29年和歌山大学卒業後、和歌山市立伏虎中学校の教諭となる。

その後、和歌山市内の中学校、県立高等学校の教員として郷土の歴史・文化遺産を教材とする歴史教育の研究と実践を重ねる。その一方、旺盛な研究心は、主に和歌山城とその城下町に関連する歴史研究に注がれ、多くの研究から導き出された高い見識は、和歌山市史の編纂、史跡和歌山城の管理と保存整備に卓抜した指導力を発揮した。また、著書『近世都市和歌山の研究』、その普及版『城下町和歌山百話』では、和歌山城と紀州藩政また和歌山城下町の文化を簡明に解き、多くの県民に和歌山文化を易しく語りかけた。

歴史資料や文化遺産の調査、保存活用では、和歌山市域だけではなく、県教育委員会が実施した古文書調査事業での主任調査員を契機に、県史編さん協力委員、県文化財地区保護員などを歴任、本県が実施してきた歴史資料調査事業等の文化事業への貢献度は計り知れないものがある。

さらに、平成5年以降は和歌山文化の研究団体である木国文化財協会や(社)和歌山県文化財研究会の副会長として、平成13年からは和歌山県域をフィールドとする県内外の研究者で構成される和歌山地方史研究会会長として後進の指導に当たるなど、本県の文化振興に寄与された功績は多大である。

■現在

文化財保護・近世地方史研究家
木国文化財協会副会長
和歌山地方史研究会参与

■主な表彰歴等

昭和59年 和歌山市自治功労賞
平成3年 和歌山市教育功労者表彰